

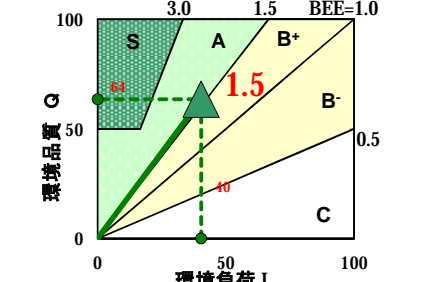
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日東電工株式会社 茨木事業所(仮)	階数	地上4F
建設地	大阪府茨木市下穂積	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準工業地域、準防火地域	平均居住人員	400人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,750時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2020年3月 竣工	評価の実施日	2020年3月31日
敷地面積	7,587㎡	作成者	前垣篤志
建築面積	2,941㎡	確認日	2020年3月31日
延床面積	9,600㎡	確認者	前垣篤志



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

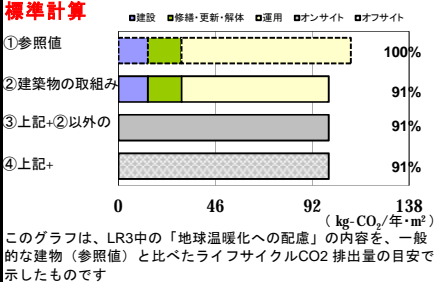
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

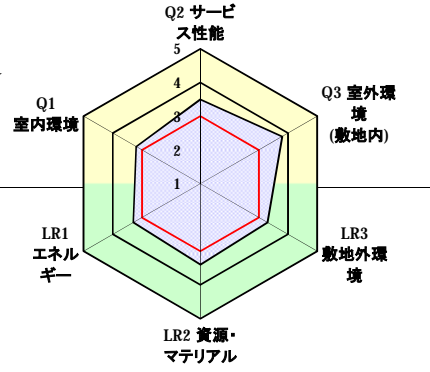
標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

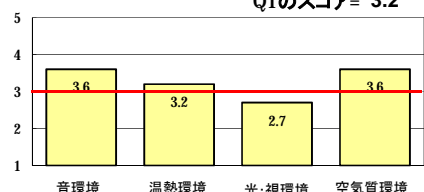


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 3.5**

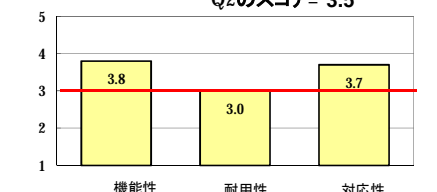
Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2




Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5



Q3 室外環境(敷地内)

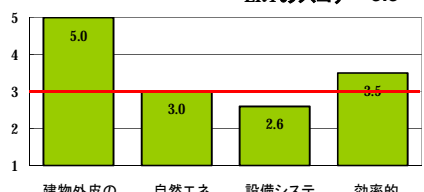
Q3のスコア = 3.8



LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.3**

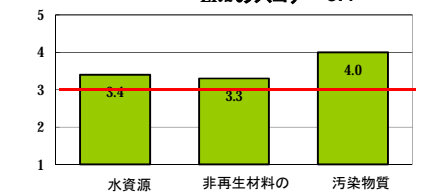
LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3



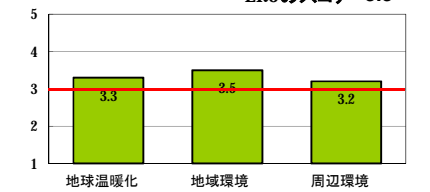
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3



3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> 近隣へ配慮した計画(北側に圧迫感のない形態) 隣接する既存建物と一体感のあるまちなみ形成の外観 フレキシビリティの高い計画 	0
Q1 室内環境 <ul style="list-style-type: none"> 外皮性能の確保(断熱) F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用 喫煙の制御(喫煙室の確保) 	Q2 サービス性能 <ul style="list-style-type: none"> 余裕のある天井高 BCP対策、高度情報化対応 耐久性のある躯体、外部、内部仕上材の採用
LR1 エネルギー <ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー基準の基準値を下回る計画 BPI=0.63, BEI=0.87 	LR2 資源・マテリアル <ul style="list-style-type: none"> リサイクル材の積極利用 分別容易なユニット材の採用 汚染物質を含まない材料選定
	Q3 室外環境(敷地内) <ul style="list-style-type: none"> 緑豊かな外構による敷地内温熱環境の向上
	LR3 敷地外環境 <ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー基準の基準値を下回る計画 BPI=0.63, BEI=0.87

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-変-0002

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	日東電工株式会社 茨木事業所(仮称)事務所棟建設計画						
	建設地	大阪府茨木市下穂積						
	用途/区分	事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						4	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告

報告しない

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.3	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	4.0	4
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.6	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		